

明石支部では、企画を募集しています。文化行事から臨床研究会まで、お気軽に事務局までご連絡ください。

兵庫県保険医協会明石支部研究会のご案内

目からウロコ!

医療機関で知っておきたい 医療・福祉・介護の役立つ制度

日時 2月16日(土)午後4時30分～6時 (終了後懇親会会費 5000円)

会場 グリーンヒルホテル明石 2階
(明石駅から徒歩3分 電話 078-912-0111)

講師 神戸女子大学 阿江 善春 氏

参加費 無料 定員 30人



医療機関にはさまざまな生活環境の患者さんが受診されますが、長引く不況や不安定雇用の増加などによって、医療費の支払いが困難なために、受診回数を減らしたり、在宅で必要な介護サービスが受けられていない患者さんも少なくないと思われます。そのような患者さんに、申請すれば、保険料や一部負担金、介護サービス利用料が軽減されたり、手当が受けられるなどの制度について、医療機関の窓口で、的確にアドバイスが出来ることは、患者さんの生命と健康を守るために重要であることはもちろん、医療機関に対する信頼にもつながります。

今回は、永年の医療ソーシャルワーカーの経験を生かし、兵庫県社会保障推進協議会で各自自治体に対し制度改善の取り組みもされ、現在は神戸女子大学や看護学校などで教鞭をとっておられる阿江先生に、医療機関で知っておきたい医療・福祉の役立つ制度のポイントについてわかりやすくお話しいただきます。先生はもちろんスタッフの方々もぜひご参加下さい。

※お問い合わせは、兵庫県保険医協会明石支部担当事務局 078-393-1809 平田・本田まで

兵庫県保険医協会明石支部研究会参加申込書 (2/16 土) FAX(078)393-1802

参加者名	職種	懇親会 5000円
		○ ×
		○ ×
		○ ×

医療機関名() 電話()



X'masパーティー 魅惑の手品や楽しいビンゴまで

支部では12月9日にレストラン「オリブ! オリブ!!」で、恒例となったクリスマスパーティーを開催した。会員や家族、スタッフら54人が参加した。今年もプロマジシャン・トリッカー「ロキ」さんの華麗な手品や豪華景品を用意したビンゴ大会などで大人から子どもまで参加者全員で盛り上がった。各テーブルではマジックが披露されるたびに、「え〜! こんなに間近なのにタネがわからない!」などと歓声が上がった。



役職員一同

謹んで新年のお慶びを申し上げます
本年もよろしく
お願ひ申し上げます

謹賀新年

兵庫 庫医 協会

明石支部

No. 260

2013・1・25

投稿歓迎!

兵庫県保険医協会明石支部

支部長 吉岡 巖
神戸市中央区海岸通一丁目二番三十一号
神戸フコク生命海岸通ビル五階

TEL 078-1-3931-1801 (代)
FAX 078-1-3931-1802

第28回支部総会 記念講演詳録⑦

原発を知る・被ばくを知る

京都府保険医協会 飯田 哲夫 先生

第28回支部総会での記念企画「原発を知る・被ばくを知る」の講演録に加筆したものをシリーズ掲載。

【事故報告】

東電は日本に対して認めていないどころじゃなくて、国際的にも津波説で押し通している。原子力災害対策本部はIAEA国際原子力機関に報告書を出し義務があるため報告書を出しました。先ほど話しました技術者のその報告に対するコメントを、ちよつと長いんですけども読みます。

『どんなシミュレーションであれ、その結果は、ひとえにどのようなデータを入力したかにかかっている。この提出したシミュレーションの担当者は、おそらくどうすれば格納容器の圧力を、設定圧力より高い7・4気圧に上昇させることができるかに、腐心したはずだ。彼らは、地震動による圧力制御機構の破壊や、機能喪失というストーリーを、入力条件としては選択しなかった。それを選



国内で唯一稼働する大飯原発を視察する筆者（前列右から4人目）

抱えている。都合の悪いデータは全て誤りとして切り捨て、都合のよいデータだけのことさら強調する。典型的な悪しきシミュレーションと言わなければならぬ。報告されたものは、皆さんもご存じだと思いますけれども、このシミュレーションの結果、地震発生後約3時間で炉心が露出し、4時間で炉心損傷が始まり、15時間で原子炉圧力容器が破損した。いわゆる超特急メルトダウンストーリー、これを国際的に報告したわけです。地震ではやられなかったよ、津波だよと。

【国際原子力機関IAEA】

これをIAEAは受け取りました。そしてIAEAは国際的な原子力にかかわった機関です。福島でなにが起こったか知っていたはずですが、原子炉でなにが起こったか、どんなふうな住民避難だったかも知っているはずですが、IAEAの事故報告に対する評価を読んだ人から僕は聞いただけなんですけれども、「日本政府は冷静沈着、かつ組織的に住民避難を含めた対策を講じ、世界の範となる行動を起こした」。こう評価した、もう絶賛らしいですよ。変でしょう？

IAEAっていうのは、ノーベル平和賞を貰った団体です。まあ、ノーベル平和賞っていうのは、時々変な人に送ったりしますけど。IAEAは、アメリカが中心になって作りました。目的は2つあります。1つは核が拡散しないために監視をする、もうちよつ

ほど海に放り出してしまっている。高濃度放射性の水を放り出すよりは、薄いやつだったらいいだろうとこれも海に放り出して、漁協から猛烈に怒られてたらしい。

この水をこれをどうするかっていったら、まさか環境に全部放り出すわけにいきませんから、水の中から放射性物質をかき集めて、そしてそれを六ヶ所村に移動して、むこうで半永久的に保存するしかない。

【放出放射性物質】

被曝対策の基本情報となるどんな種類の核分裂生成物がどれくらいあるか、原子炉の中であつて、それがどれくらい外界に出たか、全く発表されていません。いろいろ推測するしかなく、東京大学のアイソトープセンターの教授が国会に呼ばれた時には、ウラン換算でヒロシマ原爆約20発分(新聞報道で約160発分とも)、要はよくわからない莫大な量が環境の中に放り出されてしまいました。

【燃料プール】

今回の事故で、燃料プールというものの問題が浮き上がってきました。燃料プールっていうのは、使用済燃料、燃え残ったウラン、プルトニウムなど、たくさんの核分裂生成物(死の灰)が、ジルコニウムに閉じ込めた燃料棒の形として崩壊熱を出し続けています。これを水を張ったプールの中に入れて冷ます。これが今回、閉鎖的につまり外行き来しないで、冷やすことができなくなつてしまった。おまけに原子炉ほど強固に造っていませんから、地震がくると壊れてしまう可能性がある。こんなものが原子炉建屋内の原子炉の上に設置されていたのです。